平成３０年度全国学力・学習状況調査より

～　児童生徒の学力や学習習慣・生活習慣等に関する結果の分析と改善に向けた今後の取組について　～

福島市教育委員会

１．はじめに

福島市教育委員会では，平成３０年度全国学力・学習状況調査を市教育施策に係る検証と改善に役立たせるとともに，その結果と改善策について広く市民の皆様へお伝えし，保護者や地域の方々の御理解と御協力を得ながら，学力の向上を一層図っていきたいと考えております。そこで，本市全体の教科の平均正答率とともに，児童生徒の学力や学習習慣・生活習慣に関する課題や改善に向けた今後の取組をまとめましたので，御覧いただければ幸いです。

なお，本市では各校の学力調査の数値結果等について，序列化や過度の競争につながるおそれがあることから，個々の学校名を明らかにした公表は行っておりません。

２．調査の概要

(1)　調査日時　平成３０年４月１７日（火）

(2)　調査対象

市立小学校４８校の第６学年の全児童，市立中学校２０校の第３学年の全生徒

(3)　調査内容

○ 小学６年　国語Ａ(知識)，国語Ｂ(活用)，算数Ａ(知識)，算数Ｂ(活用)，理科
○ 中学３年　国語Ａ(知識)，国語Ｂ(活用)，数学Ａ(知識)，数学Ｂ(活用)，理科
○ 生活習慣や学習環境等の質問紙調査

３．教科に関する調査の結果（平均正答率）

(1)　小学６年

教科	福島市		福島県		全国	
	A	B	A	B	A	B
国語	72	56	72	54	70.7	54.7
算数	65	52	64	51	63.5	51.5
理科	61		60		60.3	

(2)　中学３年

教科	福島市		福島県		全国	
	A	B	A	B	A	B
国語	76	60	76	61	76.1	61.2
数学	64	45	64	44	66.1	46.9
理科	65		66		66.1	

４．全国の結果から分かる本市の特徴（○全国を上回っている主な内容　▲課題となる主な内容）

(1)　小学６年

国語Ａ(知識)	○漢字の読み書き ○目的に応じて文章の内容を読むこと ▲文を正しく書くこと ▲文章全体の構成の効果を考えること
国語Ｂ(活用)	○よさを伝える文の書き方 ○文章の内容を的確に押さえ，自分の考えを明確にしながら読むこと。 ▲目的や意図に応じ，伝えたい内容を明らかにして詳しく書くこと
算数Ａ(知識)	○百分率を求めること ○折れ線グラフから変化の特徴を読み取ること ▲除法で表すことのできる２つの数量の関係を理解すること
算数Ｂ(活用)	○枚数，本数，個数を関連付け，根拠を明確にして式や言葉で説明すること ▲複数の情報を関連付けて解釈し，表現，判断すること
理科	○人体のしくみなど，自然事象についての知識・理解 ▲ろ過の適切な操作方法など，観察・実験の技能

(2)　中学３年

国語Ａ(知識)	○正しい漢字を書くこと ○古文に対する基礎的・基本的な知識 ▲的確に話すこと ▲目的に応じて構成を考えて書くこと
国語Ｂ(活用)	○質問の意図を捉えること ▲目的に応じて文章を読み，内容を整理して書くこと ▲文章とグラフの資料との関係を考えながら内容を捉えること
数学Ａ(知識)	○絶対値の意味を理解すること ○数量の大小関係を不等式に表すこと ▲代表値や確率の意味について理解すること
数学Ｂ(活用)	○グラフから情報を読み取ること ▲図形の性質を筋道立てて論理的に考察し，表現すること ▲事柄が成り立つ理由を構想を立てて説明すること
理科	○神経系など，生物的領域の知識・理解・技能 ▲電流に関する計算など，物理的領域の知識・理解・技能

福島市の子どもたちの学力を一層伸ばすために

小学校6年国語

育っている力

① 目的に応じて，文章の内容を的確に押さえ，自分の考えを明確にしながら読む力が身に付いています。

② 漢字を正しく読んだり，書いたりするなど，文や文章の中で使おうとする習慣が身に付いています。

③ 自分が伝えたいことについて，他のものと比較して書くなど，相手に正確に伝えるためのよりよい表現の工夫について理解しています。

育てたい力と手立て

① 目的や意図に応じて，内容の中心を明確にして詳しく書く力

→ 目的や意図に応じて，どのように書くのが効果的かを考えながら書き，友達と書いたものを見せ合って検討する学習を大切にしていきます。

② 文を正しく書く力

→ 主語と述語，修飾と被修飾語の関係を「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どのように」「なぜ」といった文の構成を意識して書き，書いたら読み直す習慣を付けていきます。

小学校6年算数

育っている力

① 円周率を求める式や，円周の長さが直径の長さに比例することなど，直径・円周・円周率の関係について理解しています。

② 割合が，（比較量）÷（基準量）で求められることを理解するなど，百分率を求める力が身に付いてきています。

③ 時間の経過に伴う気温の変化を表すグラフを選択できるなど，折れ線グラフの変化の特徴を読み取る力が身に付いています。

育てたい力と手立て

① 計算の意味を考える力

→ 小数のわり算などの計算の意味を図や数直線等を使いながら考え，その関係を言葉や式を用いて表現する学習を大切にしていきます。

② 複数の情報を関連付けて理解し，表現したり判断したりする力

→ 目的に応じて情報を整理し，複数の資料の中から必要な情報を読み取ったり，関連付けて考えたりする学習を計画的に取り入れていきます。

小学校6年理科

育っている力

① 人の腕が曲がる仕組みや，「関節」などの言葉などをよく理解しています。また，それを模型に適用して考えることもできます。

② 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることなど，電流の回路についてよく理解しています。

③ 野鳥のひなの観察の問題がよくできています。安全に留意し，生物を愛護する態度が育っています。

育てたい力と手立て

① より妥当な考えをつくりだす力

→ 複数の情報から，あいまいな情報と確実に言える情報を区別したり，必要な情報だけを取り出したりして，結論をまとめる学習を取り入れていきます。

② 観察・実験に用いる器具を適切に操作する力

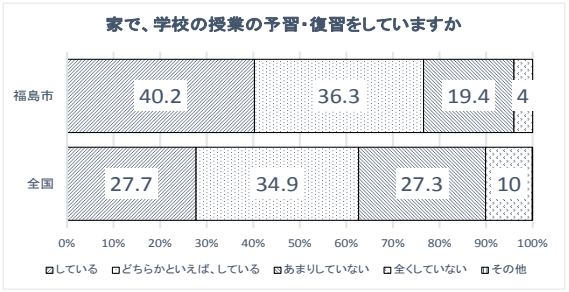
→ 観察や実験を行う前に，使用する器具の操作方法を学習するようにします。また，友達と互いに見合って，自分一人でも操作できるようにしていきます。

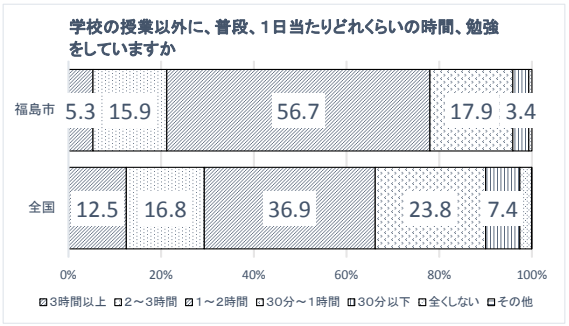
児童質問紙調査の結果から（全国と比較して）

○　家庭での学習習慣の定着

「家で学校の予習・復習をしている」「どちらかといえばしている」と回答した児童の割合は76.5%（全国比＋13.9%）と高い結果が出ています。また，１日の家庭学習時間についても，１時間以上勉強している児童の割合は77.9%（全国比＋11.7%）と高く，家庭学習に取り組む習慣が身に付いています。さらに，「自分で計画を立てて勉強している」児童の割合も全国を上回っています。学習習慣が定着していることは大きな成果であり，本市の強みであると言えます。

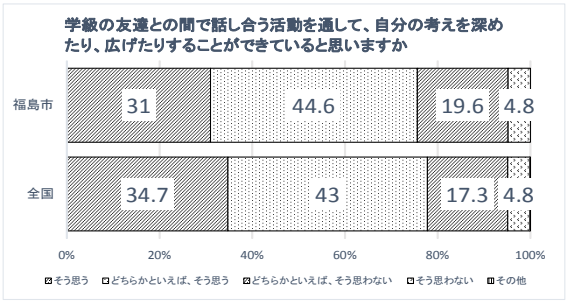
今後は，中学校を見据えて，その質的な向上を図っていきます。





○　自分の考えを深め，広げるために

「話し合う活動を通して，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか」という質問で，肯定的に答えた児童の割合は全国に比べてやや低くなっています。児童の考えを深め広げるために，自分の考えを素直に表現し，相手の考えを共感的に聞くことができるペアやグループ・学級全体での話し合い活動を工夫していきます。



福島市教育委員会の学力向上への取組

○　日々の授業の充実に向けて

年間を通して各種教員研修を行うとともに，学校訪問や授業研究会を通してよりよい授業の実現に向けて助言し，個々の教員の指導力向上を図ります。

また，指導主事が各中学校区の学力向上担当者と協議し，各校の課題や学力向上策を共有しながら９年間の学びを総合的，連続的に捉えた指導を展開するようにしていきます。

○　家庭学習の充実に向けて

本市の児童はしっかりと家庭学習に取り組むことができています。市では昨年，家庭学習の質的な向上を図るため「家庭学習のスタンダード（福島市版）」を作成しました。「学校での学習」→「家庭での復習・予習」→「学校での学習」というサイクルを確立することで学習内容の確実な定着を図っていきます。

保護者の皆様へ

学力向上の第一義的な責任は学校にありますが，学習習慣の確立のためには，家庭との連携が極めて重要であると捉えています。お子さんの学力をさらに向上させるために，以下の点について御協力をお願いいたします。

- 「早寝，早起き，朝ご飯」の習慣化，テレビやゲーム，スマートフォン等についての約束事など，望ましい生活習慣の確立が学力向上には不可欠です。
- 決まった時刻に，決まった場所で，落ち着いて学習できる環境を整えることが大切です。
- 今後も，お子さんの頑張りを大いに褒めてあげてください。御家族の温かい言葉や励ましが新たな学習意欲へとつながっていきます。